



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月30日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9384 URL <https://www.ntl-naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800
 四半期報告書提出予定日 2021年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	7,196	33.3	761	120.2	819	143.8	551	140.2
2020年12月期第1四半期	5,397	△2.3	345	16.2	336	7.9	229	13.4

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 845百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 1百万円(△99.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	56.67	—
2020年12月期第1四半期	23.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	13,659	10,502	72.1
2020年12月期	12,784	9,864	72.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 9,852百万円 2020年12月期 9,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	19.00	—	17.00	36.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	30.1	1,300	112.0	1,370	114.1	940	114.1	96.63
通期	27,000	21.6	2,310	63.7	2,400	61.7	1,680	97.5	172.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期1Q	10,698,000株	2020年12月期	10,698,000株
2021年12月期1Q	970,019株	2020年12月期	969,971株
2021年12月期1Q	9,728,005株	2020年12月期1Q	9,717,229株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日~2021年3月31日)におきましては、一部の国で新型コロナウイルスの感染が減少しているものの全世界では依然予断を許さない状況が続いています。昨年秋以降、コンテナ不足と運賃高騰が継続している中、アメリカが新たに追加経済政策を打ち出し、消費拡大を喚起したこともあってコンテナ不足は解消せず、運賃が下方硬直的な状態となっております。

このような状況の中、当社は船会社との交渉によりコンテナスペースの確保に全力を挙げ、取引先に対し安定的なサービスの提供を維持して参りました。これにより数量、売上ともに前年を大きく上回る水準で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,196百万円(前年同四半期比33.3%増)、営業利益は761百万円(同120.2%増)、経常利益は819百万円(同143.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は551百万円(同140.2%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、輸出混載貨物を主力としております。単体につきましては、利益率の高い輸出混載貨物や、売単価の高い地域へのフルコンテナの取扱数量が増加し、増収増益となりました。国内子会社におきましては、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは、航空機の運航減便が続く中、航空貨物需要の取込みが奏功し、大幅に増収増益となりました。また、ライジングフィッシュ株式会社は、巣ごもり消費の継続により、食品輸入の取扱が順調に推移し、増収増益となりました。

この結果、日本セグメントにおける売上高は、5,107百万円と前年同四半期と比べ1,392百万円(37.5%)増加し、セグメント利益(営業利益)も521百万円と前年同四半期と比べ315百万円(152.4%)増加しました。

②海外

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社11社を有しております。これらの海外子会社では日本からの貨物の取扱が売上高の大半を占めておりますが、近年では日本発着以外のサービスも強化、推進しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、日本からの貨物が増加した一方、フォローディング案件も順調に取り込んでまいりました。

この結果、海外セグメントにおける売上高は、2,089百万円と前年同四半期と比べ406百万円(24.1%)増加し、セグメント利益(営業利益)も247百万円と前年同四半期と比べ100百万円(68.2%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は13,659百万円(前連結会計年度末比875百万円増加)となりました。変動の主な理由は、現金及び預金が16百万円、売掛金が505百万円、建物及び構築物が49百万円、有形固定資産その他が362百万円増加したこと等によるものであります。

負債は3,157百万円(同237百万円増加)となりました。変動の主な理由は役員退職慰労引当金が300百万円減少した一方、買掛金が287百万円、賞与引当金が116百万円、固定負債その他が94百万円増加したこと等によるものであります。

また、純資産は10,502百万円(同637百万円増加)となりました。変動の主な理由は、利益剰余金が385百万円増加、その他有価証券評価差額金が21百万円、為替換算調整勘定が232百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2021年12月期における連結業績は、昨年秋以降コンテナ不足と運賃高騰が継続している中、アメリカが新たに追加経済政策を打ち出し、消費を喚起したこともあって、運賃が下方硬直的な状態となっております。この影響により当初業績予想を上回る見込となりました。

コンテナ不足や運賃高騰の中、船会社との交渉によりコンテナスペースの確保に全力を挙げることで、当社主力の海上混載やフルコンテナの単価、数量ともに予想を上回って推移しております。それに伴い当社現地法人での貨物取扱量も増加しました。また、国内グループ会社も、航空貨物の取込みや、食品輸入の取扱いが順調に推移しております。結果、日本セグメント、海外セグメントとも業績は当初を上回る見込となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大については未だ収束の見通しがつかないものの、ワクチン接種が進むことで世界

経済は徐々に回復すると予想されます。また、海上コンテナのひっ迫については、2021年末までには相応の落ち着きを取戻す可能性はあるものの足下の好業績はここ数か月は継続すると見込まれることから、売上高のほか、営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する当期純利益それぞれにおいて、2021年12月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を上方修正いたしました。

なお、今後、新たな業績予想の算定が可能となり、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,807,798	6,824,537
売掛金	1,834,883	2,340,303
その他	656,655	698,342
貸倒引当金	△6,262	△6,230
流動資産合計	9,293,075	9,856,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,990,913	2,040,686
その他(純額)	672,053	1,034,241
有形固定資産合計	2,662,966	3,074,928
無形固定資産		
のれん	51,989	44,451
その他	65,076	63,682
無形固定資産合計	117,066	108,134
投資その他の資産		
その他	721,157	629,732
貸倒引当金	△9,735	△10,125
投資その他の資産合計	711,421	619,607
固定資産合計	3,491,454	3,802,670
資産合計	12,784,529	13,659,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,236,027	1,523,698
未払法人税等	160,918	120,019
賞与引当金	7,384	124,170
役員退職慰労引当金	300,000	—
その他	622,181	692,458
流動負債合計	2,326,511	2,460,347
固定負債		
退職給付に係る負債	396,527	405,744
その他	196,864	290,921
固定負債合計	593,392	696,666
負債合計	2,919,904	3,157,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	253,073	264,422
利益剰余金	9,799,148	10,185,063
自己株式	△989,013	△989,076
株主資本合計	9,307,145	9,704,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,665	25,730
為替換算調整勘定	△108,871	123,747
退職給付に係る調整累計額	△1,471	△1,568
その他の包括利益累計額合計	△105,678	147,909
非支配株主持分	663,158	650,354
純資産合計	9,864,625	10,502,610
負債純資産合計	12,784,529	13,659,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	5,397,469	7,196,196
売上原価	3,895,908	5,260,437
売上総利益	1,501,560	1,935,759
販売費及び一般管理費	1,155,935	1,174,733
営業利益	345,624	761,026
営業外収益		
受取利息	9,675	4,133
為替差益	—	41,300
不動産賃貸料	8,130	8,040
助成金収入	—	2,145
その他	4,589	6,605
営業外収益合計	22,394	62,224
営業外費用		
支払利息	1,027	1,090
為替差損	28,946	—
支払手数料	1,333	1,309
その他	512	1,071
営業外費用合計	31,820	3,471
経常利益	336,198	819,779
税金等調整前四半期純利益	336,198	819,779
法人税、住民税及び事業税	112,775	117,961
法人税等調整額	△24,235	129,652
法人税等合計	88,540	247,614
四半期純利益	247,658	572,164
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,151	20,872
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,506	551,291

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	247,658	572,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,861	21,064
為替換算調整勘定	△225,547	252,496
退職給付に係る調整額	15	△102
その他の包括利益合計	△246,393	273,458
四半期包括利益	1,264	845,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,788	804,879
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,524	40,743

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,714,807	1,682,662	5,397,469	—	5,397,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,054	199,640	288,694	△288,694	—
計	3,803,861	1,882,302	5,686,164	△288,694	5,397,469
セグメント利益	206,729	147,220	353,950	△8,325	345,624

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,325千円には、のれん償却額△7,672千円、及びその他調整額△653千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,107,185	2,089,011	7,196,196	—	7,196,196
セグメント間の内部売上高 又は振替高	199,684	447,864	647,549	△647,549	—
計	5,306,870	2,536,876	7,843,746	△647,549	7,196,196
セグメント利益	521,868	247,570	769,438	△8,412	761,026

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,412千円には、のれん償却額△7,730千円、及びその他調整額△682千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。